

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第7週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,026例あり、先週(1,877例)の約0.5倍であった。2023年の累積報告数は52,670例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症(7週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸チフス 1 例。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
3類	腸チフス	宮崎市	30歳代	女	—	高熱、比較的徐脈、バラ疹、下痢、便秘、海外渡航歴有り
4類	レジオネラ症	延岡	70歳代	男	肺炎型	咳嗽、呼吸困難、肺炎
5類	ウイルス性肝炎	日向	40歳代	女	サイトメガロウイルス	全身倦怠感、嘔吐、発熱、肝機能異常
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	女	—	ショック、軟部組織炎、菌血症
	梅毒	都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日南	20歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,652人(定点当たり35.8)で、前週比92%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

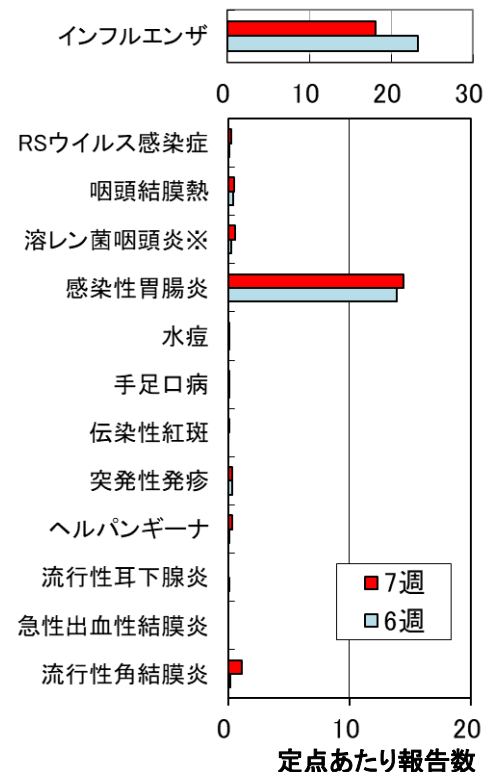
報告数は1,049人(18.1)で、前週比78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(14.2)の約1.3倍であった。延岡(40.6)、小林(24.5)、日向(21.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は521人(14.5)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(9.2)の約1.6倍であった。中央(29.0)、小林(20.3)、都城(18.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

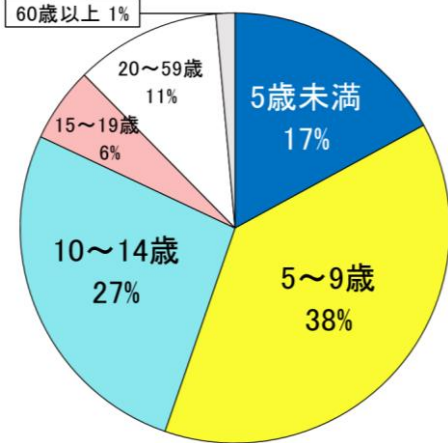
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

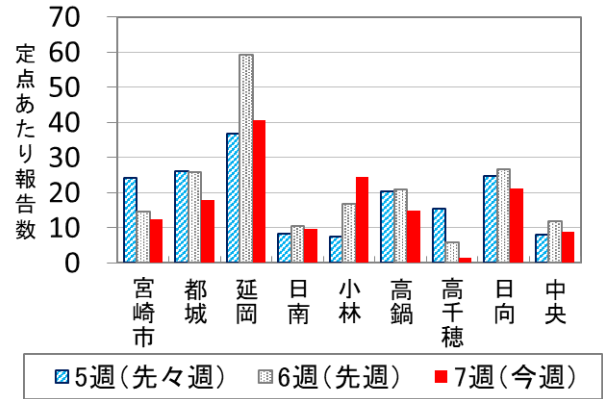


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

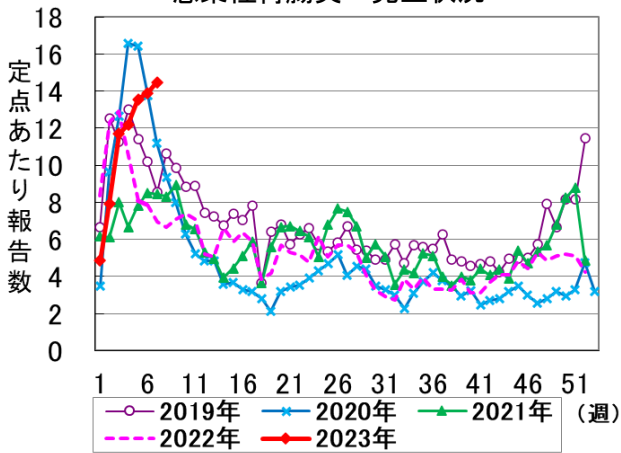
インフルエンザ年齢群別グラフ(第7週)



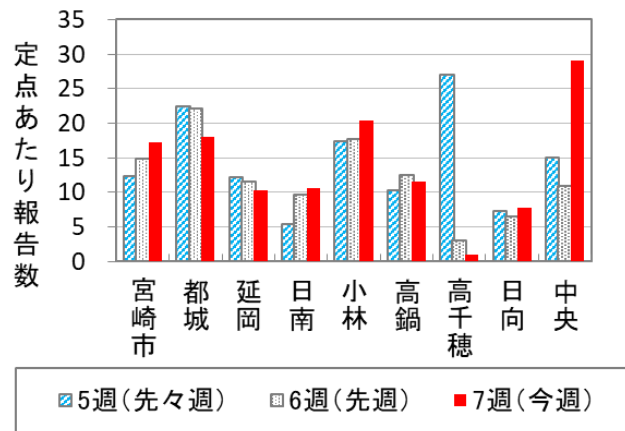
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(12.6)
都城	インフルエンザ(17.8)
延岡	インフルエンザ(40.6)
日南	なし
小林	インフルエンザ(24.5)、感染性胃腸炎(20.3)
高鍋	インフルエンザ(15.0)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(21.3)
中央	感染性胃腸炎(29.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30)
- ・感染性胃腸炎(20)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年2月20日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Rhino virus	0～4歳	男	2022.11.28	38℃、咳嗽、下気道炎（肺炎）、角膜炎	鼻腔ぬぐい液 喀痰	2023.02.10
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.01.10	インフルエンザA型感染症、39.0℃、上気道炎（咽頭炎）、 下気道炎（気管支炎）、胃腸炎（嘔気・嘔吐）	鼻汁	2023.02.08
Influenza virus AH3	0～4歳	女	2023.01.17	インフルエンザA型感染症、39.9℃、下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2023.02.08

🇯🇵 全国 2023 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	217 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	腸チフス	3 例		
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	サル痘	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	4 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	22 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	26 例	水痘（入院例）	2 例	梅毒	180 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	12 例
	麻しん	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は水痘、手足口病及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 63,786 人(12.9)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(16.1)の約 0.8 倍であった。福井県(45.0)、石川県(40.5)、沖縄県(30.3)からの報告が多く、年齢群別では5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 22,843 人(7.3)で前週比 92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.9)の約 1.5 倍であった。大分県(14.4)、富山県(14.0)、宮崎県(13.9)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第07週(02月13日～02月19日)

疾病名		第06週	第07週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1349	1049	201	178	284	49	98	90	3	128	18
	定点当り	23.26	18.09	12.56	17.80	40.57	9.80	24.50	15.00	1.50	21.33	9.00
RSウイルス 感染症	報告数	5	10	1	2				6	1		
	定点当り	0.14	0.28	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	1.50	1.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	14	18	13		1	2				1	1
	定点当り	0.39	0.50	1.30	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	10	20	5	4	1	6				1	3
	定点当り	0.28	0.56	0.50	0.67	0.25	2.00	0.00	0.00	0.00	0.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	500	521	172	108	41	32	61	46	1	31	29
	定点当り	13.89	14.47	17.20	18.00	10.25	10.67	20.33	11.50	1.00	7.75	29.00
水痘	報告数	4	1				1					
	定点当り	0.11	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	1								1	
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	11	12	7	1		1	1	1			1
	定点当り	0.31	0.33	0.70	0.17	0.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	12	10		2						
	定点当り	0.08	0.33	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	7	7								
	定点当り	0.17	1.17	2.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第01週～07週)

2類感染症	結核	17例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例(1)
	つつが虫病	6例	レジオネラ症	1例(1)
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例(1)	急性弛緩性麻痺	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例(1)	後天性免疫不全症候群	1例
	梅毒	15例(2)	百日咳	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	52670例(1026)		
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	3例

()内は今週届出分、再掲